

/////////
いわて マナビィ マガジン

No.168 2018. 9.25

/////////
朝晩の気温は、めっきりと低くなり「肌寒さ」を感じる日も出てきました。一方日中は、爽やかで過ごしやすい季節となり、秋本番といった感じです。これからは、岩手の短い秋を満喫するために、山の紅葉を見に行ったり、農園の果物狩りに行ったりするのもいいかもしれませんね。

さて、今回のマナビィ マガジンは、「推進センター事業の報告」と「10月の事業・後半の予定」「すこやかメールマガジン」についてお知らせをいたします。

センター事業報告

◆読書ボランティア研修会②

【実施日】平成 30 年 9 月 12 日（水）

【会場】岩手県立生涯学習推進センター（花巻市）

【内容】

○講演「ヤングアダルトの読書とメディア」

[講師]同志社女子大学 学芸学部メディア創造学科

准教授 村木 美紀 氏

※中学生・高校生の読書推進とメディアの活用について学びました。

○実践発表「ヤングアダルトの読書推進への取組」

[発表者]一関市立川崎図書館 司書 阿部 悠 氏

岩手県立伊保内高等学校 教諭 石川 千枝 氏

[コーディネーター]富士大学 経済学部 教授 早川 光彦 氏

※中学生・高校生の読書推進・読書ボランティア活動に向けた取組について発表いただきました。

【受講者からの感想】

・なかなか聞くことのできないヤングアダルトサービスについて分かりやすく教えていただいた。今後より注意深く情報収集し、実務に活かしていきたい。(図書館職員)

・私は小学校の図書館ボランティアと地域コーディネーターの活動をしているが、中・高生の分野に関しては全く知らなかった。今回の研修会で現状とその背景が分かり、自分自身が勉強していかなければならないことが明確になった。(学校図書館ボランティア)

・図書館員はあらゆる情報に敏感であり、興味を持つこと、そして、伝える力を持つことの大切さを改めて感じた。新しいことを始めるには、非常にパワーを要することだが今回の研修を参考に少しずつでも実践してみたい。(学校関係職員)

◆事業担当者のための評価研修会

【実施日】平成 30 年 9 月 21 日 (金)

【会場】岩手県立生涯学習推進センター・岩手県立総合教育センター
(花巻市)

【内容】

○講義・演習「事業評価の意義と具体的手順」

[講師] 国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター

専門調査員 白井 淳子 氏

※目標に照らした評価項目の抽出や評価指標の作成等と分析までの評価検証の具体的手順を学びました。また、担当する事業について他の市町村の担当者との意見交換をしながら進めました。

○演習「S Q S システムを使用した評価の実際」

[講師] 岩手県立生涯学習推進センター 社会教育主事 丹 康浩

※受講者や保護者に実施したアンケートを簡単に処理できる S Q S のシステムを学びました。ダウンロードの方法から集計、アンケートの作成・編集を実際に体験しました。

【受講者からの感想】

・講師の先生やグループの方々とのワークの中で、現在準備している事業の目標や内容が明確になり、充実した時間となった。また、一人では思いつかないアイデアや手法まで学ぶことができた。

（教育事務所・社会教育主事）

・講師から「評価は事業の進め方からすでに始まっている」とのお話をいただき大変参考になった。今回学んだことを実践で使いこなせるようになるには、私自身、少し時間が必要であると感じた。

（市町村職員）

・事業評価について、その意図するところや具体的な手法などを分かりやすく教えていただき、とても参考になった。

（公民館・地区センター職員）

センター情報（10月の事業・後半の予定）

（1）子どものまなびを支えるセミナー「青少年教育担当者研修会」
センター会場(10/18)

【対象】

・市町村教育委員会の生涯学習・社会教育関係職員（公民館・地区センター職員含む）

・国公立青少年教育施設職員及び施設ボランティア

・NPO法人・地域づくり関係職員

・社会教育関係団体（青少年教育関係）職員

・放課後児童クラブ及び放課後子ども教室関係者

・学校教育関係者 等

【会場】岩手県立生涯学習推進センター（花巻市）

【研修内容】

◆事例発表「子どものまなびを支える若者たち」

[発表団体]

・水沢ジュニアリーダーズクラブJUMP

・独立行政法人国立青少年振興機構 国立花山青少年自然の家

[助言] 文教大学人間科学部人間化学科 准教授 青山 鉄兵 氏

◆講義・演習「子どもと若者をつなぐ青少年教育」

[講師] 文教大学人間科学部人間化学科 准教授 青山 鉄兵 氏

【おすすめポイント！】

◎子どもを対象とした活動に若者たちをどのように巻き込み、どのように育成するか、2つの取組から学びます。

◎青少年教育におけるボランティア活動を中心として、子どもと若者をつなぐ意義と指導者に求められる視点について、講義・演習を通して学びます。

(2) センター・公民館職員等研修講座 中部地区 (10/26)

【対象】

- ・ 中部教育事務所管内の地区センター・公民館職員
- ・ 生涯学習・社会教育担当職員及び関係者

【会場】 北上市生涯学習推進センター (北上市)

【研修内容】

◆講義「子どもの事故の防ぎかたと対応法」

[講師] 子供の安全研究所 代表 (小児科医) 鈴木 徹郎 氏

【おすすめポイント！】

◎各地区の実態に即したテーマを設定し、地域づくりを担う地区センター・公民館職員のスキルアップを図る研修講座です。今回は、各所属において行われる、青少年教育事業の際に参加した児童・生徒の安全に関する配慮や事故対応等について学びます。

★詳しくは、「まなびネットいわて」に随時、最新情報を掲載しております。

↓↓↓↓

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/29youkou/29youkou.html>

すこやかメールマガジン

に「pref.iwate.jp」の設定をお願いいたします。



発行：岩手県立生涯学習推進センター（花巻市北湯口 2-82-13）

編集：熊谷 浩二